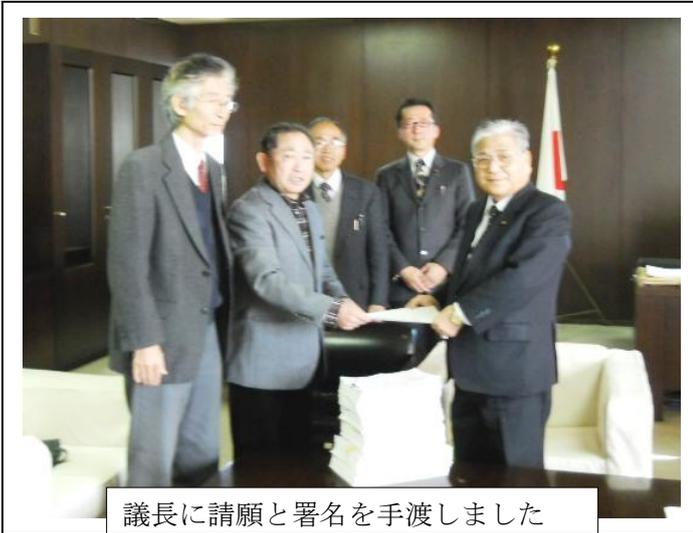


予算議会・常任委員会(三月十一日)への付託が決まる

「高すぎる国保税を引き下げて」 1万600名のねがい議会に提出される!

国民健康保険は、命や健康に直接かわる重要な制度です。今、国民健康保険に加入している人たちの生活は、不況が長引く中、大変厳しく、保険税を払えない人たちが年々増えていきます。合併後新たに決定される今年こそ「高くて払いきれない国保税を大幅に下げてほしい」という願いをこめた賛同署名10633筆が、一月27日、請願代表稲木豊作氏から、市議会議長に提出されました。



議長に請願と署名を手渡しました

一万六百筆を超える市民のみなさんの切なる願いに、議会はどうか応えるのか、今回の2月議会に市民のみなさんの熱い視線が注がれています。紹介議員となった日本共産党議員団4名は採択に向け全力を上げてがんばります。

総合病院がオープンします

久喜総合病院がいよいよ4月1日にオープンします。それに先立って3月22日に10時30分から完成祝賀会が開かれます。上田知事など関係者も招待されています。

また3月23日、24日、25日と3日間、市民への「内覧会」を行います。箇所ごとに担当職員が説明する予定とのことです。

23・24日は
午前・10時～12時
午後・1時～3時
(25日は午前のみ)

内覧の予定時間



環境建設水道常任委員会で TPPをめぐる集中審議

TPP(環太平洋連携協定)に日本が参加することについては、農業者や各団体はもちろん、水産業、林業、運輸など関連産業を含めた広範な国民が反対の意思表示をしています。

また、全国の多くの県市町村議会も「反対」もしくは「慎重に」の意見書を国にあげています。

久喜市議会では、先の11月議会に日本共産党議員団が「参加しない」ことを求める意見書を提出したところ、動議の末、2月議会での委員会付託となっていました。この間、委員会では1月28日に勉強会を行いました。2月3日には、国の農水省と経済産業省の職員にきていただき、「参考人からの意見聴取」をおこないました。



石田 としはる

1. 自校調理方式給食を存続させてほしい

栗橋南小学校北校舎改築後の学校給食、自校方式給食を存続させてほしいという、子ども達やPTAの皆さんの声をどう受け止めているのか。改築予定の基本設計に調理室を設置すべきと考えるがどうか。

2. 公共施設の使用料は、 使用する目的によって検討すべき

スポーツ少年団など義務教育の子ども達が使用する時や、高齢者など健康増進を目的に使用する場合は無料にすべき。

3. 住宅リフォーム助成制度の創設をすべき

不況が続く中、少ない予算で、地元経済へ抜群の効果もあり、自治体の財政基盤強化にもつながる。

4. 高くて払えない国保税を引き下げて

国保税引き下げて。という切実な署名が10000人以上の方から寄せられた。一般会計から繰り入れ額を増やし、国保税を引き下げ、払える国保税にすべき。



渡辺昌代

1. ゴミ収集の指定ごみ袋は廃止すべき

菖蒲、栗橋、鷲宮の指定有料ごみ袋は、久喜宮代衛生組合で行っているようになくしてもよいのでは。

2. キャンセルした時は返金を

現在、公民館の料金支払い後のキャンセルは、料金払い戻しができないが、返金や次回使用料へ回すなどの対応をすべきでは。

3. 国保税の引き下げをすべき

請願署名に寄せられた市民の願いをどう受け止めるのか。

4. 小学校35人学級県へ要望すべき

国のH23年度、小学1年生35人学級実施を受けて、県としての対応を、小学3年生まで移行する施策を要望すべきだが

5. さくら、すみれ保育園の整備計画はどのようになるか

杉野おさむ

1. 東鷲宮駅橋上化に向けて急げ

JR東鷲宮駅の橋上化・バリアフリー化事業は22年度の調査結果をふまえ、23年度の計画はどうしていくのか。

2 合併後のごみ行政について

現在の久喜市での異なる収集・分別だが、主な相違点は何か。地域の衛生委員にも知らされずに変更が進められている。統一を図るにはじっくり時間をかけての合意が必要だが。考えは。

3、都市計画法違反の建物について

許可を得ないで建てた建物で近隣住民に迷惑をかけながら操業を続けている。一刻も早い改善が求められている。地権者や事業者に市はどんな是正を求めてきたか。



東鷲宮駅前の
「平和の種」像

木村奉憲

1. 高すぎる国保税を引き下げ 健康といのち守れ

大幅に値下げしてほしいと切実な署名が10000人以上の方から寄せられている。なぜ高いのか、改善すべき方策はどこにあるのか。

払いきれない滞納者の方に対する改善策は。

資格証明書や短期保険証は健康といのちを守る立場から廃止すべきだが。

2. 介護保険制度改革案、問題点が

自己負担の割合を1割から2割に、さらに予防重視の「要支援」にも自己負担を適用。これでは施設利用者をますます遠ざけることになりゆるされない。

3. 生活保護申請の状況と 申請受理後の対応改善は

支給直前になり変更などがあると、受給者にとっては死活問題となる状況が考えられる。改善を求める。

4. 公園の整備が遅れている 一市三町統一した基準を

新市での公園の整備が遅れている整備点検はどのようになっているか。

公園の拡充を願う声が多い。機能的に配置する計画づくりを。